

納 稅 告 知 板

固定資産税 第一期 4月1日より
軽自動車税 第一期 4月30日まで
国民健康保険税 第一期

祝祭日には国旗を掲げましょ

発行所 光 町 役 場
匝道郡光町宮川5,454の5
電 話 242-243

町の状況
人口 11,207人
世帯 2,400世帯
面積 3,336平方キロ

総合計画を骨組として

肉付けは農業発展で

新年度の町長所信



四十年度の町政執行の方針としては、光町長期総合計画として、三ヵ年実施計画を骨格としている。産業構造改善事業としては、産業既存の商業、軽工業の近代化、農業基盤整備に力を入れ、農業構造改善事業、圃場整備事業、地改事業、農地整備事業、農道の整備等の推進を行い、農業所得の引き上げを行なう一方その役割と成果を上げるために農業協同組合の育成強化に力を入れ、近き将来において町一本化を図る。

一方その役割と成果を上げるために、教育行政に力を入れ、老朽校舎の逐次改修、施設内容の充実、とりわけ本

農業の振興策としては、基本的な耕作蓄養、甘草の省力的な增收を高め、一方特殊園芸作物の奨励、助成を行なう、また新産出地の形成、小・中市場の新設等畜産の増改築と並行して畜産の振興を図る。

おおむね産業構造改善事業を推進するため、県道町道の整備とともに、工場地帯の造成、住宅団地の整備などによって中小企業の増強に寄与する。このほか

現行の商事、軽工業の近代化、と軽技術の向上を目指す、資金の手当のため中小企業の融資制度の確実的な実施と改

善を図る。

第二には、教育行政に力を

よってする。このほか

現行の商事、軽工業の近代化、と軽技術の向上を目指す、資金の手当のため中小企業の融資制度の確実的な実施と改

善を図る。

第三には、住民福祉の向上を

図る。四十二年一月より国民健康保険の世貟金たて給付の実施、ガム検診などの定期的組織的な衛生施設を行なうものである。

第四には、住民福祉の向上を

図る。四十一年度は住民福祉の向上を

図る。三十一年度は住民福祉の向上を

図る。三十一年度は住

昭和41年度一般会計予算

歳入

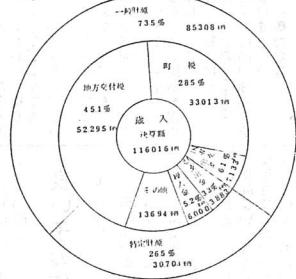
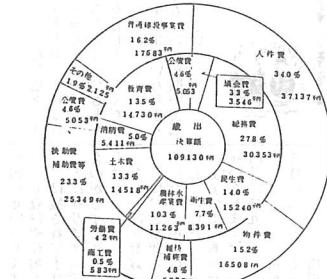
歳出

款	項	予算額	款	項	予算額	
1町 税	30,959	1議 会 費	4,354	1議 会 費	4,354	
1町 税	6,219	2議 事 務 費	31,576	2議 事 務 費	31,576	
1町 定 税	14,263	3理 管 費	23,576	3理 管 費	23,576	
2資 動 税	2,476	4統 計 費	5,800	4統 計 費	5,800	
3軽 便 税	5,600	5監 察 費	470	5監 察 費	470	
4た ば こ 力 使 用 税	2,400	6統 計 費	407	6統 計 費	407	
5電 気 取 引 税	1	7統 計 費	1,248	7統 計 費	1,248	
6木 税	57,000	8統 計 費	75	8統 計 費	75	
2地方 交付 税	1地 方 交 付 税	17,443	9統 計 費	6,547	9統 計 費	6,547
3分 担 金 及 负担 金	2,978	10民 生 費	9,244	10民 生 費	9,244	
4使 用 料 及 手数 料	2,840	11社 会 福 利 費	1,602	11社 会 福 利 費	1,602	
5国 庫 支 出 金	1負 担 金	12社 会 福 利 費	11,400	12社 会 福 利 費	11,400	
6県 支 出 金	1使 用 用 料	13生 活 保 険 費	11,268	13生 活 保 険 費	11,268	
7財 産 収 入	1國 庫 財 產	14衛 生 費	692	14衛 生 費	692	
8寄 付 金	2國 庫 財 產	15保 健 衛 生 費	67	15保 健 衫 生 費	67	
9織 入 金	3國 庫 財 產	16農 林 水 産 業 費	67	16農 林 水 産 業 費	67	
10織 越 金	1織 越 金	17農 林 水 産 業 費	19,300	17農 林 水 産 業 費	19,300	
11諸 収 入	2織 越 金	18農 林 水 産 業 費	18,639	18農 林 水 産 業 費	18,639	
12町 債	3織 越 金	19水 産 業 費	655	19水 産 業 費	655	
		20工 事 費	1,360	20工 事 費	1,360	
		21商 務 費	663	21商 務 費	663	
		22教 育 費	697	22教 育 費	697	
		23土 木 工 费	11,000	23土 木 工 费	11,000	
		24管 球 橋 工 费	2,470	24管 球 橋 工 费	2,470	
		25河 工 费	7,527	25河 工 费	7,527	
		26住 宅 工 费	560	26住 宅 工 费	560	
		27施 設 工 费	443	27施 設 工 费	443	
		28消 防 工 费	5,300	28消 防 工 费	5,300	
		29教 育 費	38,650	29教 育 費	38,650	
		30小 学 校 費	7,283	30小 学 校 費	7,283	
		31中 学 校 費	19,383	31中 学 校 費	19,383	
		32社 会 体 育 費	10,555	32社 会 体 育 費	10,555	
		33健 康 費	1,286	33健 康 費	1,286	
		34休 休 費	143	34休 休 費	143	
		35休 休 費	100	35休 休 費	100	
		36災 害 復 旧 費	100	36災 害 復 旧 費	100	
		37公 債 費	5,803	37公 債 費	5,803	
		38支 出 金	503	38支 出 金	503	
		39諸 備 費	100	39諸 備 費	100	
		40預 備 費	457	40預 備 費	457	
		41預 備 費	457	41預 備 費	457	
		才 入 合 计	146,910	才 出 合 计	146,910	

昭和39年度決算から……実施された主な事業

<単位 千円>

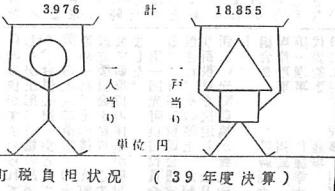
◎社会福祉施設事業費	4,321	◎道路新設改良事業費	5,915	◎消防施設整備事業費	2,487
ひかり荘建設事業費	2,856	母子地先通学道路工事費	3,226	小型動力ポンプ	673
橋場青年館建設事業費	1,465	国道舗装新設工事負担金	2,000	(合・小田部)	1,814
保育園児童措置費	6,830	横芝白浜線道路整備負担金	659	防火水そうその他	800
中央保育園	2,689	下部地域土地改良事業助	800		
日吉 "	2,067	金			
白浜 "	2,074				
○東洋病院建設負担金	4,400	○橋梁新設改良事業費	1,384	○教育施設整備費	2,551
		県道二又構新設工事負担金	784	南条小学校改築工事	709
○環境衛生事業(緑蚊駆除)	874	宝塚中島橋架替工事補助金	600	光中金工室工事費	1,842



三十九年度決算も認定される

<単位 千円>

国 保 会 計	36,245	35,038
國 場 會 計	16,751	15,584
國 線 會 計	11,561	11,316



昭和41年度一般会計予算
歳入歳出の概要
本年度予算額は一般会計一四六、九一〇千円、国保特別会計四三、五九七千円、その他特別会計二七三、九二〇千円で合計二七三、九二〇千円である。このうち、税金は八〇〇千円、特別会計は九〇〇千円、國場、國線は各二〇〇千円である。
歳入歳出の内訳は、税金が最も多く、次に國場、國線、特別会計となる。
歳入歳出の予算額は、税金が八〇〇千円、特別会計は九〇〇千円、國場、國線は各二〇〇千円である。
歳入歳出の内訳は、税金が最も多く、次に國場、國線、特別会計となる。

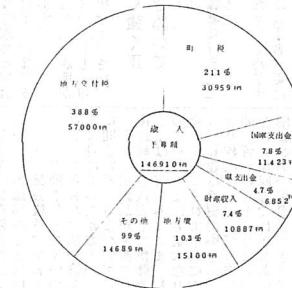
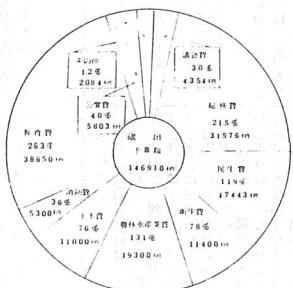
編集後記

予算編成の概要
本年度の予算総額は一般会計一四六、九一〇千円、国保特別会計四三、五九七千円、その他特別会計二七三、九二〇千円で合計二七三、九二〇千円である。このうち、税金は八〇〇千円、特別会計は九〇〇千円、國場、國線は各二〇〇千円である。
歳入歳出の内訳は、税金が最も多く、次に國場、國線、特別会計となる。
歳入歳出の予算額は、税金が八〇〇千円、特別会計は九〇〇千円、國場、國線は各二〇〇千円である。
歳入歳出の内訳は、税金が最も多く、次に國場、國線、特別会計となる。

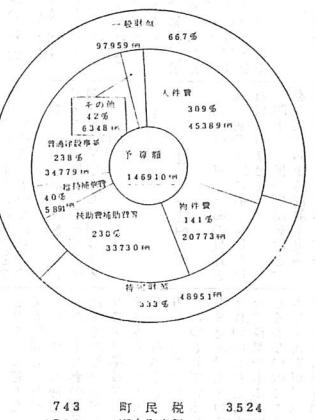
本年度予算（一般会計）決まる

総額 一億四千六百九拾一万円

昭和41年度光町一般会計予算



性質別歳出



昭和39年度特別会計決算

<単位 千円>

税	3,524
國 定 貸 保	6,218
國 そ の 他	5,771
705	3,342
3,976	18,855